



THINK × ACT
KANSAI
UNIVERSITY

2012.1 Vol.411
関西大学通信



KANSAI

Univ.

NEWS

関西大学通信リニューアル記念!

2012年、あなたは
何を始めますか?

関西大学通信のニックネーム

大募集!

詳しくは
裏表紙へ!

特集

【VIVA!学び場】

社会安全学部・社会安全研究科

「被災地に学ぶプロジェクト」

みんなで一緒に考えよう。【関大誌上教室】

あなたはツイッターやっていますか?

関西大学通信リニューアル記念!

2012年、あなたは 何を始めますか?

2012年4月、
関西大学留学生別科を開設!

関西大学は、新たな国際化構想の一環として、2012年4月に関西大学南千里国際プラザを新設し、その新しい学舎で関西大学留学生別科(日本語・日本文化教育プログラム進学コース)を開始します。関西大学留学生別科では、本学の学部または研究科を中心に、日本国内の大学・大学院への進学を希望する外国人に対し、日本語、日本事情、日本文化などを教授し、学術活動の基礎となる能力を養うことで、国際的視野に立つ有為な人材を育成します。詳しくは以下のウェブサイトでご確認ください。
<http://www.kansai-u.ac.jp/ku-jpn/>

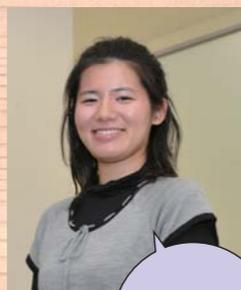


関大も
始めます!

遠藤祐季さん 化学生命工学部3年次生

夢を叶えるための大切な1年に。

2012年は、「理科の先生になりたい」という小学校からの夢を叶えるための大切な1年。今は5月から始まる出身中学での教育実習に向けて、教育セミナーに参加して中学校の授業を見学させてもらうなど、いろいろと勉強中です。生徒とのコミュニケーションや保護者への対応など、不安なことも多いですが、たくさんのことを経験して人間的に大きく成長できる1年にしたいですね。



勉強に
励みます!

毎号、学年歴や社会情勢に合わせたタイムリーなテーマで今回のテーマは、新年一発目、そして関大通信リニューアル心に抱いた熱い想いを学生に語ってもらいました。

お届けする特集ページ。
を記念して、「新たに始めたいこと、チャレンジしたいこと」。

伊藤晃嗣さん 環境都市工学部3年次生

次なるターゲットは市区町村の庁舎!

これまで約2年間かけて全国の都道府県庁を巡る旅を続けてきました。歴史ある重要な建築物や新しく立派な庁舎など、驚きと発見にあふれた楽しい旅だったのですが、ついに47都道府県を制覇してしまいました。そこで次なる旅の目的は、全国の市区町村の役所巡り。鉄道研究会に所属していますから、割引切符を駆使した鉄道旅は得意なんです。まずは関西全域を制覇したいですね。



趣味を
極めます!

鈴木萌さん 法学部4年次生

グローバルな仕事にチャレンジ!

4月からはついに新社会人。それに向けて新たな目標を立てて頑張っているところです。その1つがTOEICで900点以上を取ること。内定いただいたNTTコミュニケーションズ株式会社は、グローバルに活躍できる会社なので、ぜひとも海外勤務を経験したいです。日本でつくったサービスを海外に広める、そんな仕事ができればと思います。将来は尊敬するお母さんみたいに、仕事も家庭もしっかり両立できる女性になりたいです。



就職
します!

頼れる
主将を
目指します!

吉川侑輝さん 経済学部3年次生

全勝優勝を目指します!

昨年、野球部の新主将に任命されたときは本当にビックリしました。でも任されたからにはしっかり責任を持ってやり遂げたいと思っています。野球でみんなを引っ張っていくのはもちろんですが、私生活でも部員の見本となるような主将になりたいですね。新チームの今年の目標は、全勝でリーグ戦を優勝すること。簡単なことではないですが、自分で限界を決めることなく、少しでも上のレベルを目指して努力し続けたいです。



裏地来美さん 外国語学部1年次生

ニュージーランドで異文化体験!

4月から「Study Abroad プログラム」でオークランド大学に1年間留学します。高校の修学旅行でニュージーランドに行ったのですが、自然の美しさと現地の人々の温かさに触れて以来、「留学するならニュージーランド!」って決めていたのでとても楽しみです。英語の勉強も頑張りたいし、現地で生活してみないと分からない文化や習慣にたくさん触れたいですね。



留学
します!

卒論頑張ります!

卒論を書いてこそ大学生。卒論テーマの研究に一生懸命取り組みます。(経済学部3年次生男子)

語学と体力づくりに挑戦!

英語と中国語の勉強、そして体力づくりを始めようと思っています。「今やらなければいつやるんだ」という気概を持って取り組みたいです。(文学部4年次生女子)

ボランティア頑張るぞ!

昨年も大阪マラソンの給水や淀川清掃のボランティアに参加させてもらったので、今年もさまざまなボランティアにチャレンジしたいです。(人間健康学部1年次生男子)

就職活動と研究発表!

自分の希望する就職先に進めるように頑張りたいです。(システム理工学部3年次生男子)

就職活動に全力投球!

これまでは部活動に全力を注いできたけど、2012年は今後の将来に大きく関わる「就職」についてじっくり考えたいです。(環境都市工学部3年次生女子)

もっと社会経験を積むぞ!

今年はアルバイトを始めたいです。社会経験も積めるし、人間関係ももっと広げたいので、頑張って得たお金は旅行などで有意義に使いたいです。(システム理工学部1年次生女子)

就職活動と思い出づくり!

思い出いっぱいの関大生活も残りあと1年。同じ学部でもまだ話したことのない人もたくさんいるので卒業までにもっと友人を増やしたいですね。(社会学部3年次生女子)

バイトで生活費稼ぐぞ!

アルバイトを始めて働くことの楽しさや厳しさを学びたい。今は仕送りだけで生活しているけど、生活費くらいは自分で出せるようになりたいです。(社会学部1年次生女子)

本を100冊以上読破するぞ!

大学入学から今までにため込んだ100冊以上の読んでいない本をすべて読破したい。大学生生活の総決算。頑張ります。(文学部3年次生男子)

読書で新たな世界観を!

読書に注力して想像力・知識を養いたい。さまざまな人の考えを知ること、多くの世界観を得られると思うので。(外国語学部3年次生男子)

新たな年に、夢に向かって飛びたつ!

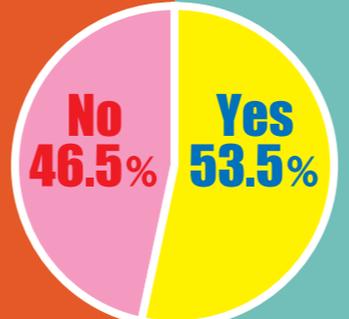
利用していきな

利用していきな

- 総合情報学部@3年次生男子**
特に面白いと思わないし、個人情報をいろんな人に見られるのは嫌なので利用しません。
- 法学部@2年次生女子**
登録はしているけど、ミクシィの方が使い慣れているのでそちらを利用しています。でもツイッターでつぶやく人が増えているので、いつかは利用するかも。
- 総合情報学部@4年次生男子**
一度利用したことはあるけど、既存のSNSと比べて良さを見いだせなかったのやっています。フェイスブックで十分だと思います。
- システム理工学部@3年次生男子**
ミクシィやその他のSNSですら面倒だし、ツイッターはそれ以上にハードルが高く感じられるので…。でも、時代に取り残されそうなのでいつかは始めるかも。
- 政策創造学部@2年次生男子**
不特定の人に自分の情報を知られるのが嫌だし、他人の愚痴を見るのも嫌いです。
- 外国語教育学研究科@M1生女子**
実はツイッターのことをあまりよく知らない…。でも周りの友達が始めたなら利用したいですね。
- 総合情報学部@3年次生男子**
アカウントは持っているけどガラケーからは見づらいし、ミクシィのつぶやく機能が満足している。
- 理工学研究科@M2生男子**
今はガラケーを使っていてツイッターが利用しづらい環境なので…。でもスマホを購入したらアカウントは取得すると思いますよ。利用するかは未定ですが。
- 文学部@3年次生男子**
使い方がよく分からないというはあるけど、参加すると同時にある種の責任が生じそうと怖いというのが正直なところ。
- 外国語教育学研究科@M1生女子**
どう使えばいいの分からないし、これからも利用しないと思います。
- 外国語教育学研究科@M2生女子**
時間がないので利用していません。でも災害時など緊急の場合には役立つので少し使ってみたいかな。
- 政策創造学部@2年次生女子**
登録はしたのですが面倒くさくって放置しています。でも時間があれば始めるかもしれないですね。
- 社会安全学部@1年次生男子**
アカウントは一応持っています。使い方がよく分かりません。でもうまく使いこなせば人との関わりが増えて楽しいのかも知れませんね。

- 外国語教育学研究科@M2生女子**
アカウントは持っているけど、何もつぶやいていません。必要性を感じたら利用を再開すると思います。
- 人間健康学部@2年次生男子**
利用するメリットがよく分からないのと、万が一ハマってしまつて依存してしまうのも嫌なので使っていません。
- 商学部@4年次生男子**
自分の何げないつぶやきで、自分以外のさまざまな人に迷惑をかけてしまうリスクを考えると気軽に利用できません。
- 商学部@4年次生男子**
登録するのが面倒なので利用していません。でも周りの友達が登録しているので、一度は利用してみたいです。
- 理工学研究科@M2生男子**
メールや電話で用件は伝わるし、必要性をまったく感じないので使っていません。
- 文学部@4年次生男子**
ミクシィやフェイスブックをやっているし、ツイッターには特に魅力を感じないので使っていません。
- 政策創造学部@2年次生男子**
なんだか登録するのが面倒。でもスマートフォンに機種変更したら利用したいですね。

みんなで一緒に考えよう。
関大誌 上教室
 あなたはツイッターをやっていますか？
 twitter



関西大学
 ツイッター
 (回答数計 531人)

- システム理工学部@2年次生男子**
同じ趣味の人たちをフォローしておく、趣味に関する情報をいち早く入手することができます。でも誤った情報がRTで拡散されることもよくあるので気を付けています。
- 総合情報学部@1年次生男子**
ソールドアウトになったライブのチケットをツイッターで譲ってくれる人を見つけて、交渉して入手できたときはうれしかったですね。
- 文学部@4年次生女子**
ハッシュタグを活用してゼミ内の情報を教授も含めてみんなで共有しています。有名人にリツイートされたときに自身のアカウントが炎上しそうになったときは怖かったですね。
- 社会学部@3年次生女子**
日常生でうれしかったことや楽しかったことを中心につぶやいています。大学の講義で感じたことや教授の面白い発言なんかをツイートすることもありますよ。
- 政策創造学部@3年次生女子**
ボランティアサークルの告知に利用しています。自分たちの活動を広めるにはとても便利なツールですね。
- 社会学部@2年次生女子**
主に友人を中心にフォローしているのですが、フォローされていない人に見られるとまずい内容をツイートして、見られてしまったときは焦りました。
- システム理工学部@3年次生男子**
いろいろな意見を聞くことができ、自分の思い付かなかった意見を聞けるのが良いですね。でもネチケットを守らない人が多いのは気になりますね。

- 文学部@4年次生男子**
友達とのコミュニケーションに利用したり、読書録や俳句をつぶやいています。自作の俳句は手軽に投稿できて感想を共有できるのがうれしいです。
- 商学部@3年次生女子**
休講や延着の情報を友達と共有できるから便利。でもパーソナルな情報をつぶやくと、知らない人に個人を特定されるかもしれないので注意が必要です。
- 外国語学部@3年次生女子**
主に友人をフォローしています。留学中の友達の今の様子が分かるのは便利です。でも誰に見られているか分からないので、ツイートする際には気を付けています。
- 政策創造学部@2年次生女子**
これからすることや今の場所なんかをつぶやくことが多いですね。不特定の人に感想を求めたいときには便利かな。
- 政策創造学部@2年次生女子**
フォローしている友人の近況が分かるので便利。でもどんな人が見ているの分からないのはちょっと怖いかも。
- 文学部@2年次生女子**
英語やフランス語を勉強できるアカウントをフォローしていて、語彙力をつけるのに役立っています。あとなかなか会えない友達と気軽にコミュニケーションがとれるから楽しいですね。
- 環境都市工学部@3年次生男子**
ニュースや著名人のつぶやくをチェックするのに使っています。誰でも気軽に発言できるけど、内容によっては社会に影響を与えることもあるので時には慎重さも必要。
- 社会安全学部@1年次生男子**
永松伸吾先生と越山健治先生をフォローしているのですが、お2人の時事問題についてのさまざまな意見や考え方を知ることができるので面白いですよ。
- 総合情報学部@3年次生男子**
就活に役立つアカウントをフォローしているのですが情報共有が手軽にできてとても便利。今はつぶやく内容も就活関連が多いです。
- 環境都市工学部@3年次生男子**
フォローしている友達の行動を把握できるので、実際に会ったときに話が盛り上がりやすい。あと、サブカル的な情報を集めるのにも大活躍。
- 法学部@3年次生女子**
好きなタレントや友人、役に立ちそうな情報なんかをフォローしています。政治家や芸能人、社長など、まったく接点のない人の考えを知ることができるから面白いですね。
- 環境都市工学部@4年次生男子**
ネットで見つけた気になるニュースについて、コメントとリンクをつけてツイートしています。一度にたくさんの人に意見を聞いてもらえるのがうれしいですね。
- 社会学部@2年次生男子**
楽しいことや悲しいことなど、今の自分の気持ちをつぶやくことが多いですね。友達が落ち込んでいるときにはツイッターで励ますこともありますよ。



OPINION OF PROFESSOR
 総合情報学部 森尾博昭教授

ツイッターは、ミクシィやフェイスブックなどのSNSと同様に人と人とをつなぐインターネット上のサービスです。携帯での利用も手軽にできることから、普段頻繁に会うことのできない知人・友人との人間関係の構築に役立ちますし、他では得られない情報を

収集することもできるでしょう。一方で、自分の使っているサービスの特性を理解せずに使っていてトラブルに巻き込まれるケースが定期的に見られます。例えば、ツイッターでは自らのツイートは自動的に全世界に公開されるため、不適切な内容をツイートして大きな問題となるケースがありますし、ミクシィでも自分の日記はマイミクにのみ公開されているから安心と思っていたら、いつの間にか流出して全世界に公開されていたということもあります。自分の発信した情報は常に蓄積され、無限に複製されうるという前提を理解した上で、これらのサービスを有意義に利用してほしいと思います。

次号のテーマは…「社会に出るってどういうこと？」

3月号では社会人1年目の先輩による誌上座談会を実施。社会に出てからの悩み、夢とともに、これから社会人になっていく皆さんへのアドバイスも掲載します。乞うご期待ください!



放送業界／アナウンサー



朝日放送株式会社

高橋大作さん

大阪府関西大学第一高等学校出身
2005年社会学部卒業

関西の今を伝えるニュースを求めて
毎日飛び回っています。

平日の夕方、ニュースを徹底的に分かりやすく伝える報道番組「キャスト」において、サブキャスターを担当している高橋大作さん。「ニュースを分かりやすく伝える、親しみやすい番組」を目指して毎日奮闘されています。「ニュースを伝えることで、また新たなニュースが生まれたり、世の中が少し動いたり。そういった部分に面白さを感じる反面、さまざまな世界に影響を与えることもあるので、常に慎重さを忘れずに仕事に取り組んでいます」。そんな高橋さんがアナウンサーを志したのは大学生のとき。地元のお祭りにボランティアで司会を体験したときに、「この仕事は自分に向いているかも」と感じ、アナウンサーを目指すようになったといいます。「まずは自分がどんなことにチャレンジしたいのかを人に話してみてください。想いをいかに人に伝えるか。またそのリアクションを見て自分が何を感じるか。それを繰り返すことで夢や目標がより明確になっていくと思います」。入社7年目、取材に出てインタビューをしたり、ニュース原稿をまとめたり、時には企画を考えたりと、テレビに出演されている以外の時間も、分単位のスケジュールをこなし、忙しく飛び回る高橋さん。「毎日、自分が知らなかった世界に取材を通して飛び込んでいけること」。アナウンサーの仕事の魅力を語ってくれた後、新たなニュースを求め大急ぎで取材に向かわれました。

ある1日の
スケジュール

9:00 入社後、新聞名紙の
記事をチェック
9:30 番組の打ち合わせ
10:00 取材に出発
12:00 昼食
14:00 帰社
15:00 ナレーション録音、
打ち合わせ
16:50 「キャスト」本番開始
19:00 本番終了、番組反省会
19:30 翌日の打ち合わせ
20:00 退社



筆記用具に取材ノート、手帳、ボイスレコーダー、時計、そしてスマートフォン。
取材の際に欠かすことのできない大切な道具たち。

ANNOUNCER

VIVA!!

学び易

社会安全学部・社会安全研究科

「被災地に学ぶプロジェクト」

被災地が教えてくれたこと。

1000年に一度の災害ともいわれる東日本大震災。実際に被災地へ行って人々の声に耳を傾けたことで自分たちが勉強することの意義を実感しました。

2010年4月に誕生したばかりの社会安全学部。さまざまな分野で危機管理の重要性が叫ばれるなか、他大学にはない関西大学独自の学部として、大きな注目を集めてきました。そのさなかの2011年3月11日、東日本大震災が発生。日本中が危機管理の重要性を再認識することとなりました。この大きな危機に際し、何らかのかたちでコミットしたいという声を上げたのは学生たち自身でした。

災害や事故などの非常時対応に精通する教員が多くいたこともあり、5月に企画委員会を設置。学生に意向を調査し、津波被災地を見学するプログラムを立ち上げることになりました。6月に希望者を募り、7月に事前学習講座を開講。8月には学生40人と教員8人が宮城・岩手県の津波の被災地を訪れ、避難者の話に耳を傾けました。このメインプログラムの前後に、有志で被災企業を訪問・見学したり、学ぶだけでなく「ボランティア活動で貢献して帰りたい」と仙台近郊でボランティア活動に参加する学生もいました。さらに9月に入ってから、高槻ミューズキャンパスの危機管理マニュアル作成に取り組んできた学生が、教員と共に被災大学の初動対応を調査し、非常事態への対応に加え、通常の教育・研究活動を継続することが大学にとっていかに重要かを学びました。被災地から戻った学生たちは、プロジェクトに参加して考えたことをレポートにまとめたり、展示パネルを作成するなど経験の発信にも取り組んでいます。今回の経験が今後の対策や社会貢献活動に、どのように生かされていくのか期待されます。



宮城県南三陸町の防災対策庁舎



宮城県南三陸町の宿泊先にて



笹岡 大哲さん (2年次生)



調査終了後も、あらためて一人で被災地を回りました。被災企業訪問では自分たちも被災者であるにもかかわらず、多くの企業が前向きで元気だったので印象的でした。

前原 慎吾さん (1年次生)



もともとは企業の危機管理研究に関心が高かったのですが今回のプロジェクト参加によって、自然災害分野への研究にも取り組んでいきたいと思いました。



仮設住宅に住んでいる方々との交流会



被災企業訪問



社会安全学部

菅 磨志保 准教授

学生は自分の問題や関心に合わせて主体的に参加プログラムを選択していました。仙台集合にしたことは勇気が要りましたが、往復の行程も、多くのことを教えてくれたと思います。

大学成長の記録は『関西大学通信』にアリ! 誌面で見える関西大学の歴史。

1969年の創刊から40年以上にわたり、大学のトピックスや学生の活躍などさまざまな情報を伝えてきた『関西大学通信』。誌面をめくれば大学の歴史や変化、そして成長の軌跡を見ることができます。

1969年(昭和44年)6月
『関西大学通信』創刊



1969年6月19日、『関西大学通信』が創刊。タブloid版、年9回の発行で、学生・教職員に適切な情報を提供することで「新しい大学像」の創出に向けた「真剣な討議の場」を設けることが創刊の趣旨でした。

1972年(昭和47年)3月
高松塚古墳壁画の発見



1972年3月21日、奈良県明日香村の高松塚古墳において故網干善教授が関西大学の学生たちを率いて行った発掘調査で、わが国で初めての極彩色の古墳壁画を発見。メディアで大々的に報じられ、空前の考古学ブームが巻き起こりました。

1978年(昭和53年)11月
第1回総合関開戦開催



1978年11月29日、30日の2日間、関西大学、関西学院大学が体育会27部にわたって覇を競う第1回総合関開戦が開催されました。結果は15勝8敗3分けて、本学の圧倒的勝利に終わりました。

1985年(昭和60年)4月
総合図書館開館



1985年4月、総合図書館が千里山キャンパスに開館。地上3階、地下2階、総面積(図書館部分)は19,105㎡。大学図書館としては有数の規模と内容を誇ります。

2006年(平成18年)2月
総合学生会館
メディアパーク 凜風館竣工



2006年2月、「コミュニケーション広場の創出」を基本コンセプトに、千里山キャンパスに竣工しました。

1994年(平成6年)4月
高槻キャンパス開設、総合情報学部設置



1994年4月1日、新しく開設した高槻キャンパスに、「文理総合型」というコンセプトのもと、総合情報学部が設置されました。

1986年(昭和61年)11月
創立100周年記念式典挙行



1986年11月2日、大阪城ホールにおいて関西大学創立100周年記念式典が挙行され、約13,000人が会場を埋めました。

2004年(平成16年)4月
法科大学院設置

2006年(平成18年)7月
関西大学アイスアリーナ竣工



2011年(平成23年)4月
東アジア文化研究科、
ガバナンス研究科設置

2007年(平成19年)4月
政策創造学部設置
工学部をシステム理工学部・
環境都市工学部・
化学生命工学部に再編

2006年7月13日、高槻キャンパスに竣工した「関西大学アイスアリーナ」。大学では日本初となる国際競技規格の通年型アイススケートリンクとして大きな話題を集めました。

2008年(平成20年)4月
心理学研究科設置

2010年(平成22年)4月 高槻ミュージックキャンパス開設、
社会安全学部と社会安全研究科設置
堺キャンパス開設、人間健康学部設置

2009年(平成21年)4月
外国語学部、
臨床心理専門職大学院設置

2009年(平成21年)10月
『関西大学通信』冊子版へ
リニューアル



2009年10月、新聞形式のタブloid版から冊子版に改訂。発行回数も年20回発行へと変更されました。



2012年(平成24年)1月『関西大学通信』リニューアル
2012年1月、誌面デザイン、内容ともに一新してリニューアル。大学からの情報発信にとどまらず、学生参加型のインナーコミュニケーション誌として、読んで楽しく役に立つ学内情報誌を目指します。



社会学部3年次生

藤原 醇平 さん

音楽のチカラを再認識した1年だった。



SWING JAZZ CRUISE 2011

大学生の手で神戸とジャズの魅力を伝えることを目的に2008年から始まった音楽イベント。2011年度は神戸ハーバーランド内の7つのステージに加え、メリケンパークにもダンスイングジャズステージが展開され、スケールアップして開催されました。当日は昨年より2,000人多い8,100人が来場。神戸の港にジャズが響く、喜びと感動に包まれた一日となりました。

次号では、藤原さんからご紹介で落語大学の
大野沙耶花さんが登場。
お楽しみに!

港町・神戸がジャズ一色に染まる「スイング・ジャズ・クルーズ(SJC)」。2008年のスタート以来、大学生が運営する音楽イベントとして毎年大きな注目を集めてきました。昨年10月2日には第4回目を開催。その実行委員長を務めたのが関西大学Jazz研究会・会長の藤原醇平さんでした。8,000人を超える来場者を集めるイベントでありながら、企画・運営はもちろん、スポンサー集めや出演者への交渉、予算管理など、イベントに関わるすべてのことを約30人の実行委員で実施。それを統括するのが実行委員長である藤原さんの大切な役目でした。学生同士の集まりの中で、みんなを一つにまとめてくれたのが音楽だったといいます。「実行委員のみんなに共通しているのは、“ジャズが好き”ということ。楽器を手にセッションすることで、自然と打ち解けることができたし、“SJCを成功させたい”という想いと共に結束も強くなっていきました」。そんな藤原さんと実行委員のみなさんの気持ちを表現したのが第4回のテーマである「Jazz smiles.」。「音楽で神戸の街を笑顔にしたい」とステージでの演

奏はもちろん、趣向を凝らしたさまざまなイベントを企画。当日、藤原さんは訪れたお客さんたちの笑顔やツイッターのタイムラインに並んだたくさん「楽しかった」というつぶやきを見て、「1年間頑張ってきて本当に良かった」と手ごたえを感じたといいます。

1年間、SJCを通じて音楽の素晴らしさをあらためて実感したという藤原さん。今後は「SJCが日本を代表するジャズイベントに育ってほしい。そしていつかOBとしてイベントで演奏できたら最高ですね」と語ってくれました。



Junpei Fujiwara

学部・研究科トピックス

法学部 / 法学研究科

法学部主催行事の紹介

法学部では、毎年、数回にわたって学術講演会を主催しています。2011年10月18日には、韓国の方勝柱先生(漢陽大学法学専門大学院教授)をお招きしての講演会「韓国の国家緊急権制度」を実施しました。また、12月14日には、エジプト、エチオピア、ケニアから政府関係者をお招きしてのフォーラム「アフリカの知的財産事情」も実施しました。今後もさまざまな企画を主催する予定ですので、是非参加してください。

政策創造学部 / ガバナンス研究科

学生主体のゼミ対抗発表会

今年度で3回目となる政策創造学部秋の恒例行事「Academic Fair 2011」が、2011年11月28日に開催されました。これは、各ゼミによる発表会で、今年のテーマは「政策を創造する」。政策創造学部ならではの良さを生かし、経済学・法学・政治学といった多種多様な分野を設定しました。参加した学生による評価・採点の結果、12チーム中、安武真隆教授ゼミの「ワークショップ型オープンキャンパスの実践例」が優勝しました。

システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部 / 理工学研究科

理工系学部の「学部構成」と「学部として目指していること」について紹介

システム理工学部は、工学系基幹分野である「機械工学科」、「電気電子情報工学科」に加え、理学系の「数学科」、「物理・応用物理学科」の4学科から構成されており、「しくみづくり」を基幹コンセプトに、現代社会を支える「科学技術システムにおける高度で安全な「しくみ」と「しかけ」の創造」を基本理念として、科学的真理の探求と新たな「しくみ」の創造・創成を目指しています。

文学部 / 文学研究科 東アジア文化研究科

レポート・卒論作成を熱烈サポート!

「レポートってどう書くの?」「どうすればいい卒論が書けるのかな?」—そんな悩みに応えるのが文学部の文部科学省GPプログラム「卒論ラボ・スケール・カード」です。先輩TAから個人アドバイスを受けたり、到達度を確認したり、ワンポイント講座を受けたりしながら文章力を磨くことができます。「アカデミック・ライティング講演会」も随時開催。是非ホームページを見てください。
http://bungakushi.let.kansai-u.ac.jp/
(学部長 吾妻重二教授)

外国語学部 / 外国語教育学研究科

Study Abroadへ出発する皆さんへ

3月になると、外国語学部の学生さんが1年間のStudy Abroadへと旅立っていきます。これで3回目の送り出しとなりますが、何回経験しても、その日が来ると緊張感が全身を駆け巡ります。何事もなく、誰一人欠けることもなく、1年後に無事帰国してくれるだろうか。心配の種は尽きません。しかし「案ずるより産むが易し」といいます。どうか目一杯楽しんで(そして勉強して)きてください。贈る言葉は(とある小学校にある碑文と同じ)「死ぬな、怪我すな、病気すな」です。健闘を祈っております。
(学部長 竹内理教授)

経済学部 / 経済学研究科

経済学部国際化プログラム

経済活動のグローバル化が進む中、世界で活躍できるビジネスパーソンが求められています。経済学部は社会のニーズに応えるべく、短期留学を通じて国際経済を実践的に学ぶ「経済学部国際化プログラム」を2009年2月に開始しました。期間・時期・レベルに対応した4つのプログラム(オーストラリア・シンガポール・中国・台湾)を用意しています。2011年10月12日に成果報告会が開催され、参加学生たちは英語でプレゼンテーションを行うなど大きく成長した姿を披露してくれました。
(副学部長 中澤信彦教授)

人間健康学部

21世紀の教養プロジェクトより

人間健康学部では、学生の豊かな読書体験を目的として「21世紀の教養プロジェクト」を展開しています。このプロジェクトの一環として「写真と本から選ぶフレーズコンクール」を開催しました。これは、読んだ本の中で印象に残ったフレーズを取り上げて、それに合う写真を撮影し、それらを組み合わせたポスターのような作品を作ろうというもので、優秀な作品は学部で表彰されることになっています。もちろん、優秀作品は学部HPなどでも公開されますので、お楽しみに。
(学生主任 安田典典准教授)

化学生命工学部は、化学物質・材料を対象とした「化学・物質工学科」と、生命の構造・機能を対象とした「生命・生物工学科」の2学科から構成されており、「ものづくり」を基幹コンセプトに、「地球社会における「もの」と「いのち」の共生を図る科学技術の開発と創成」を基本理念として、21世紀社会に貢献できる専門技術者の育成を目指しています。

各学部・研究科のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

商学部 / 商学研究科

プロジェクト型学習・研究の推進

—ランチパックの開発—
商学部では、産学連携のプロジェクト型学習・研究を積極的に行っています。商学部の荒木孝治教授が担当する専門演習では、2011年4月より、山崎製パン株式会社と共同でランチパックを開発してきました。学生は、工場見学・商品開発の方法を学んだ後、新商品を開発しました。さらに、パッケージのデザイン、テレビCM案の作成・出演、校友総会や学園祭などでのプロモーションを通して、実践的な体験をすることができました。
(学部学生相談主事 荒木孝治教授)

総合情報学部 / 総合情報学研究科

2013年1月に「情報演習棟」が誕生

学部開設20年の節目に、高槻キャンパスの正面に「情報演習棟」が完成します。教育研究環境の充実、学生の作品展示・研究発表等の情報発信に資するだけでなく、本学部の今後の飛躍を期待させるシンボルとして、学生を温かく迎え入れるキャンパスの新しい顔が誕生します。


社会学部 / 社会学研究科

卒業研究発表会開催!

社会学部心理学専攻では、学生が実行委員会を組織し、学部4年間の学習の集大成として卒業研究発表会を開催しています。発表会では、4年次生だけでなく下位年次生や教員も参加し、発表者と参加者の間で活発なディスカッションが行われます。今年は、1月28日(土)10時から16時に第3学舎ソシオAV大ホールにて開催します。
昨年度のポスターセッションの様子


社会安全学部 / 社会安全研究科

キャンパス開放デー

2011年11月13日に関西大学の地域貢献活動の一環として「高槻ミュージックキャンパス キャンパス開放デー」を実施し、1,361人の参加者がありました。当日は河田恵昭学部長と小澤守副学部長の講演会が開催されたほか、社会安全学部の学生も防災博覧会や研究発表会を開催し、また、液化化実験や炊き出しなども行いました。


専門職大学院トピックス

法科大学院

関西大学法科大学院の就職支援—関大法曹会との連携強化—

法科大学院では就職支援委員会を設置し、独自に修了生の就職活動を支援するほか、関大法曹会の全面的な協力を得て、会員の法律事務所における修習前事前研修や司法修習生を会員に紹介するなどの就職支援を行っています。2011年10月に設立50周年を迎えた関大法曹会は、本学出身の法曹有資格者を会員とする職域団体で、630人以上の会員(2012年1月現在、弁護士会員約570人、裁判官会員約20人、検察官会員約20人)を擁し、その支援によって、修習を修了した63期司法修習生の就職率は100%を達成し、64期修習生も2011年12月現在で8割以上が弁護士事務所への就職を決定しています。関大法曹会とは2010年に法科大学院との間で連携協定を締結し、今後さらに協力関係を強化し、共同事業をはじめ相互の充実・発展を図っていきます。

併設校トピックス

関西大学第一中学校

関西大学第一中学校生徒会がボランティア・スピリット賞を受賞

関西大学第一中学校生徒会が第15回ボランティア・スピリット賞の「関西ブロックコミュニティ賞」に選出され、2011年11月26日に受賞式が行われました。この賞は、12歳から18歳までの青少年のボランティア活動を支援するものであり、生徒会は、2009年11月から大阪府豊能郡能勢町神山地区の耕作放棄地を再生するために毎年1回ずつ現地を訪れ、草を刈り、ネットを張り、田畑を耕す農作業を行ってきました。田畑がよみがえるとともに、現地の皆さんから「ありがと」の言葉をいただきながら、生徒たちにも元気な笑顔が広がっています。


Attention 大学からの重要なお知らせ

「定期試験(筆記試験)」「到達度の確認」の注意事項・受験心得

- 1. 学生証を忘れずに!**
学生証がない場合は試験を受験できません。紛失した場合は、至急教務センター(もしくは各キャンパス事務室)で再発行の手続きをしてください。試験日に忘れた場合は、教務センター・各学舎授業支援ステーション・各キャンパス事務室で「受験許可証」の交付を受けてください。
- 2. 試験の教室に注意!**
通常授業と教室が異なる場合があります。また、同じ科目でも学籍番号によって教室が分かっている場合もあります。
- 3. 不正行為には厳正に対処**
不正行為をした場合は、秋学期試験ですでに受験した科目はすべて無効になり、残りの科目についても一切受験できません。なお、答案を持ち帰ることや、故意に学籍番号・氏名を偽った場合も不正行為になりますので注意してください。
- 4. 遅刻は厳禁!**
授業でも試験であっても遅刻は厳禁です。試験を受験できない場合もありますので注意してください。また、公共交通機関の遅延など不測の事態にも対応できるよう、早めの通学を心掛けてください。
- 5. 病気など正当な理由で受験できない場合は...**
医師の診断書など証明書がある場合は、「追試験」・「到達度の確認に相当する学力確認」を受けることができます。教務センターもしくは各キャンパス事務室まで申し出てください。その他、試験中に何かあれば試験監督者に質問してください。
- 6. 成績発表の日時・確認方法**
インフォメーションシステムで発表します。

関大トピックス

社会安全研究科博士課程後期課程 (2012年4月開設)が設置認可・入学試験を実施

2011年10月24日、文部科学省から大学院社会安全研究科博士課程後期課程の設置について認可を受けました。

社会安全研究科は、国民生活を脅かす自然災害や社会災害に対処して安全・安心な社会を実現するために、人文・社会・自然系を融合した学際融合研究を通して、社会安全研究領域を創設するとともに、防災・減災の実現のための理論創造と政策提言に寄与できる人材を養成することを目的としています。

2012年度社会安全研究科博士課程後期課程の入学試験についての詳細は、募集要項・ウェブサイトにてご確認ください。

- 社会安全研究科 入学試験の種類
- 博士課程前期課程 (入学定員:15人)
- ・ 学内進学試験
- ・ 一般入学試験
- ・ 外国人留学生入学試験
- ・ 社会人入学試験
- 博士課程後期課程 (入学定員:5人)
- ・ 一般入学試験
- ・ 外国人留学生入学試験

社会学部・大西正曹教授のゼミ生が大型絵馬をお披露目



2011年12月10日、社会学部・大西正曹教授のゼミ生が、制作した横2.2m×縦1.5mの大型絵馬を天神橋3丁目商店街「天三おかげ館」前でお披露目・設置しました。今回で4年目を迎えるこの企画は、天神橋筋商店街と大阪天満宮のさらなる発展を祈念して、2012年の干支である「辰」の図柄を大型絵馬に描いたもので、ゼミ長である枝大祐さん(社3)の下絵をもとに、ゼミ生14人が型取り・デザインから仕上げまで1ヵ月がかりで制作しました。この大型絵馬は、3月頃まで天神橋筋商店街に掲げられます。

留学生5人が、今宮戎神社の福娘に選出

2011年12月4日に発表された今宮戎神社(大阪市浪速区)2012年の福娘50人に、本学に在籍している留学生5人が選出されました。

選出されたのは、関佳壺さん(経2・中国出身)、王蕾さん(心理学研究科D1生・中国出身)、グエン・タン・ホアさん(文学部交換留学生・ベトナム出身)、ローザン・フローさん(文学部交換留学生・オーストラリア出身)、エリン・ヘルマンスさん(文学部交換留学生・オランダ出身)です。

5人の留学生は、2012年1月9日(月・祝)～11日(水)に行われる今宮戎神社十日戎で、参拝客に縁起物の福智を授けます。



提供:今宮戎神社

■ 体育会空手道部の梶川凛美さんが、第39回全日本空手道選手権大会で準優勝

2011年12月10日から11日に東京武道館・日本武道館で開催された、第39回全日本空手道選手権大会女子個人形の部において、体育会空手道部の梶川凛美さん(文4)が準優勝を果たしました。

■ 体育会アイススケート部の高橋大輔さんが銀メダルを獲得

2011年12月9日から12日にカナダのケベックシティで行われたISUグランプリ・ファイナル男子シングルにおいて、体育会アイススケート部の高橋大輔さん(文学研究科M2生)が銀メダルを獲得しました。

■ 体育会サッカー部の松本浩幸さんがザスパ草津に加入内定

体育会サッカー部の松本浩幸さん(経4)が、Jリーグ・草津温泉フットボールクラブ(ザスパ草津)の2012シーズンの新加入選手として加入することが内定しました。

■ 文化会速記部が全日本大学速記競技大会で47連覇を達成

2011年12月11日に、東京都の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された第101回全日本大学速記競技大会において、文化会速記部が優勝し、団体47連覇を達成しました。

関大人 四方山話 ◆ 「妻」と「毒」 人間健康学部 学部長 竹内 洋 教授



偶然というべきものだろうが、長女も次女も私と同じ職業(社会学者)である。しかし妻は専業主婦である。ここに厄介な問題が潜んでいる。ある日、2人の子どもと私が世間話をしていた。どちらかの子どもが、それは「アノミー論で説明できる」みたいなジャーゴン(専門用語)を使った。侃々諤々になった。妻が話題に入り込んできた。半可通というよりトンチンカンなことを言った。3人は、上から目線笑いをしてしまった。私は、「お母さんは頭がいいけど、社会学者じゃ

ないから」と、とりなした。しかし、これがいけなかった。「なによ、社会学なんて常識みたいなものなのに」。妻が切れてしまった。以後、我々3人には、妻のいるところでは、社会学用語はタブーとなった。しかし、私は最近気が付いた。妻の本棚に社会学書が数冊加わっているのを。けなげなと思い、じんときた。が、待てよ、そんな甘い人ではない。リベンジを狙っているのかもしれない。あな、おそろしや、「妻」という字が「毒」に見え始めてきた。

関西大学通信のニックネーム大募集!ケータイからもOK

新しくなった関西大学通信に
ステキなニックネームをつけてください!
採用された方にはすてきなプレゼントを差し上げます!

下記アドレスまでご応募ください。その際、メールの「件名」に「関大通信ニックネーム応募」、メールの「本文」にニックネームのアイデアと学籍番号・氏名を必ずご記入ください。

E-mail:t.sushin@ml.kandai.jpまで。
【応募締切】2012年3月31日(土):5月号で発表します!



編集後記

リニューアルされた『関西大学通信』はいかがですか。新しい酒は新しい革袋に、といひます。こういう媒体は時代の流れや学生気質の変化などに注意していないと、いつの間にか劣化したり、先祖返りするのが世の常。あまり格式張らず、定型にすぎりもせず、柔軟にいきましょう。2012年のさまざまな抱負が中面に載っています。新しい酒がおいしく飲めるよう、革袋の手入れを怠らないようにするのが、編集サイドの抱負です。(広報委員会委員長・政策創造学部教授 深井麗雄)

今月の表紙: 足立隆弘さん(外1)、石橋郁美さん(法1)、尾野美幸さん(法1)、近藤晋平さん(政策4)、島田優さん(社3)、曾蓉さん(商1)、樽井美紀さん(社3)
中内達弥さん(経2)、中村友美さん(法4)、中村有里さん(文2)、野瀬晴佳さん(法4)、藤井霞衣さん(商3)、堀貴栄さん(法4)、森山佳広さん(社4)、
羅丹さん(東アジア文化研究科M1)

KANSAI Univ. NEWS